

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
276	B-04027261	女性	90歳	150mg	セフトリアキソンナトリウム レボチロキシナトリウム 硝酸イソソルビド アロプリノール 酸化マグネシウム センノシド フロセミド メナテレノン エトドラク 塩酸タムスロシン パンテチン ポリスチレンスルホン酸カルシウム カルボシステイン 鎮咳配合剤(1) 桜皮エキス	譫妄	軽快	慢性腎不全、慢性心不全及び甲状腺機能低下症の既往あり。B型インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与(投与開始翌日より入院投与)。投与開始後3日目、せん妄発現。4日目、意味不明の言動、興奮、職員への暴力あり。5日目、意味不明の言動及び興奮は消失するも、覚醒度不良のためリン酸オセルタミビルの服用中止。投与中止後6日目もつじつまの合わない発語が時々あり。7日目、せん妄軽快。
277	B-05025587	女性	90歳	150mg	クラリスロマイシン レバミピド オキサトミド	幻覚 異常行動	回復 回復	発熱(38.6℃)があり、インフルエンザ患者と2日間の接触があったため、リン酸オセルタミビル及び併用薬処方となる(確定診断は行っていない)。投与1日後に平熱となる。本剤5回服用後の夜中、幻覚症状(大声で幻覚症状を訴える)発現し本剤服用中止。本剤中止3日後に幻覚、異常行動(外へ出て座っている等)は回復。
278	B-05001178	男性	94歳	75mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸チクロピジン センノシド ニフェジピン	胃腸出血	死亡	慢性腎不全、脳梗塞、便秘、及び高血圧の患者。血液透析を約10年前から施行。インフルエンザA型と診断され、入院。当日の夕方リン酸オセルタミビル75mgを服用(併用薬は左記のとおり)。入院4日目の夕方、不穏な行動あり(少し認知症の気があった)、その後嘔吐(潜血反応+)あり。その3日後の夜以降、下血が続き、深夜、呼吸状態が悪化し、血圧低下、心拍数低下となり、次の日の早朝、死亡を確認。

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)(販売開始から平成19年9月30日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
279	B-07013381	女性	94歳	150 mg	アズレンスルホン酸ナトリウム・レーグルタミン 塩酸ベニジピン カルベジロール レバミピド クエン酸第一鉄ナトリウム アゾセミド アスピリン・ダイアルミネート カンデサルタンシレキセチル 非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン ピレノキシシ	異常行動	回復	インフルエンザA型と診断し、リン酸オセルタミビル服用開始。服用1日目、夜間、訳のわからない発語とともに屋外に出て行ってしまったが、同日、異常行動回復。その後は特に異常行動はなかった。
280	B-07000403	女性	小児	150 mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。3人兄弟全てインフルエンザに感染したが、当患者だけ、家の中を走り回るなど異常な行動が見られた。翌日には回復しており一時的であった。
281	B-07013378	男性	小児	不明		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、走行中の車からの飛び出し。異常行動発現。
282	B-07000209	男性	青少年	150 mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用後、自分が透明になったなどと2時間くらい暴れる。母親らがしばらく押さえつけて事なきを得た。なお、患者はもともと精神科に通っている。

(参考)異常な行動が記録されている事例の概要(平成19年10月1日以降)

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-07015893	男性	12歳	150mg		異常行動 (とびおり)	回復	発熱39.2℃。夜間診療所にてインフルエンザA陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。 本剤初回内服1時間後、閉まっていた自室2階の窓とシャッターを開けて、飛び降りた。幸いテラスの屋根があり外傷認めず。飛び降りた際には支離滅裂な話をしていた。 投与2日目、部屋から一人で出て行こうとした。「トイレ？」と尋ねると、意味不明の返答。「こちらで寝なさい」と言うと、横になり眠った。 その後、本剤は継続したが、異常言動の再発はなし。 (平成18年2月の事例)